



算額とは？

「算額」とは、算数・数学の問題や書き方を書いた絵馬のことです。江戸時代、難しい問題が解けた喜びを神様や仏様に伝えるために、神社やお寺に納めていました。

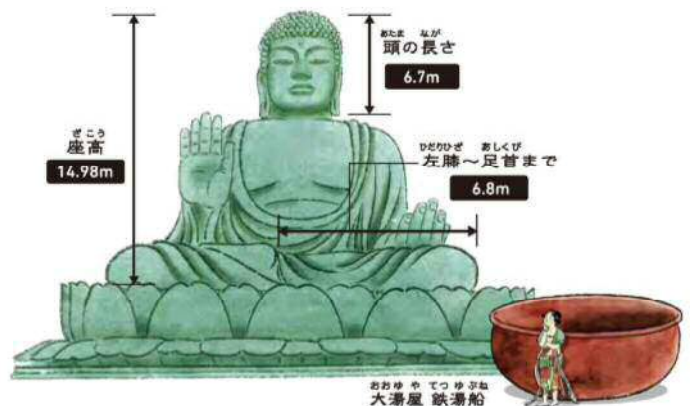
1月23日は「算額文化を広める日」です。今年も奈良の東大寺に算額が納められました。どんな問題なのかのぞいてみましょう！
東大寺に納めた実際の算額 ▶



平成三十年 問題一

東大寺には、現存するなかでは日本最古の浴場である「大湯屋」があります。大湯屋は、鎌倉期の大仏再興に従事する僧侶や職人らが入浴したといわれています。

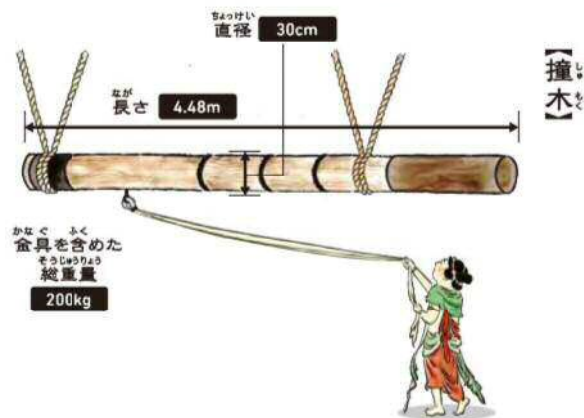
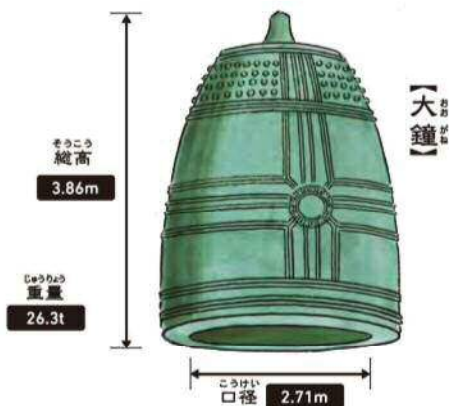
さて、もし大仏様が肩まで浸かってお風呂に入るとしたら、何Lのお湯が入る湯船が必要でしょうか？



平成三十年 問題二

東大寺の梵鐘は、総高3.86m、口径2.71m、重量26.3tです。撞木はケヤキ造りで、長さ4.48m、直径30cm、重量180kg、金具を含めると200kgにもおよびます。

大きな釣鐘であるところから古来東大寺では大鐘と呼んでいます。平成三十年一月一日の正子(真夜中の12時)、8人が一体となって大鐘を力強くつきました。このとき、鐘の音は半径何kmまで届くでしょうか？



答えは1つではありません。どのように考えて、どう答えを求めたかが大切です。